

はじめに

福岡県は、県民一人一人が幸福を実感できる「県民幸福度日本一」を目指し、県民が人生の最後まで「安定」「安全」「安心」して、将来に夢や希望を持てる社会の構築に取り組んでおり、保健福祉環境事務所は、保健・医療・福祉・環境の多岐にわたる分野において、あらゆる世代の人々が健やかに暮らせる地域づくりをめざし、保健・医療・福祉・環境・産業・教育分野など多様な機関と連携を強化し、公衆衛生の専門機関として、P D C A (Plan・Do・Check・Action) サイクルに基づき各種事業を推進しています。

現在、保健・医療分野においては、市町、医師会その他の関係機関を連携をとり、在宅での介護を含む福祉サービスを提供する「地域包括ケアシステム」の構築を支援しているところです。また、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年に向けて、将来の地域の医療需要に見合った医療資源の効果・効率的な配置を促し、患者の状態にふさわしい、より良質な医療サービスを受けられる体制をつくることを目的とした「地域医療構想」の実現に向けた取組みの他、感染症対策、救急医療体制の整備、健康づくり、自殺対策、食の安全確保などにも積極的に取り組んでいます。

福祉分野については、地域住民のセーフティネットとしての生活保護、DV相談・被害者の保護など命を守るための取組みを進めています。また、児童の健全育成のための相談指導やひとり親世帯の自立支援対策、障がいのある人や高齢者が利用するサービスを提供する介護保険事業者や障がい福祉サービス事業者の指定などに取り組んでいます。

環境分野においては、持続可能な社会を実現するための環境教育を推進するとともに、大気汚染、水質汚濁防止などの環境保全や廃棄物の適正処理推進を図り、廃棄物の不適正処理や地域固有の希少な生き物の保護などの身近な問題から、越境大気汚染や地球温暖化など地球規模の問題まで多岐に渡る課題に取り組んでいます。

この冊子は、平成29年度に当事務所が実施した事業をまとめたものです。

住民の皆さま及び関係機関や団体の方々に、当事務所の業務について理解を深めていただくとともに、ご活用いただければ幸いです。

平成30年6月

福岡県南筑後保健福祉環境事務所長 原野 敏夫